

チャレ*くま通信

「チャレ*くま通信」は就労移行支援事業所チャレジョブセンター熊谷が定期的に発行する広報誌です



編集部まえがき

前日に吹き抜けた木枯らしが残した、いわば「自然の芸術」です。集まった落ち葉は「島」、そして落ち葉の向こうに広がる砂利はまるで「海」のように見えます。寒くなり散歩に出るのも少々足が重くなりがちですが、予想もしない景色に出会えました！

普段の土曜余暇は1限に自由活動、2限に余暇活動をする人が多いのですが、今回は1限から余暇活動としてクリスマス飾りに取りかかりました。完成を見据え万全のスタート。みんなで作るクリスマス飾り作りは、着手です。2時間かけて、ワイワイおしゃべりをしてながら楽しくやっていると「あれっ」「終わらないかも」。午前中で終わらず、午後も続きをやることになりました。しかし、なんだかみんな、うれしそう。いつの間にか生まれた一体感。これが共同作業の醍醐味（だいごみ）ですね。共同制作以外でも、思いの余暇に取り組めるの



が、土曜余暇のもう一つの醍醐味（だいごみ）。自分の勉強を進める方、クロスワードを解く方、人形作りをする方、おしゃべりをしてる方、さまざまです。余暇終了後に提供されるお菓子を楽しみにされている方もいたりして。完成した飾りを早速、吊り下げてみました。果たして、月曜日に来所した方に気づいてもらえるか？

制作セミナー 小瓶の中に 自分の世界！をつくらう！

今回は「ハーバリウム」を制作しました。小瓶の中に自分の世界をつくります。作り方は①瓶の中にドライフラワー、造花、ビーズ、ラメ、絵など、なんでも入れます。②花を入れた後、オイルを入れます。③最後にリボンを結んで完成。オイルを入れると、その前とは違った見え方がして、きれいです。「おー！」「きれい！」など感嘆の声があがりました。実は、何を入れるのか考えることが一番時間のかかる工程とのこと。やってみないと分からないから、想像力がいらしますね。シンプルなものから目いっぱい詰めたものまで、個性あふれるものができあがりました。（作品は右上の今月のPhotoに掲載。12月の熊谷市障害者作品展にも出展予定です）



就職・検定情報

今月は1名の方の就職が決定しました。おめでとうございます。ご自身の興味や関心をはじめ、訓練の中で見えてきた強みや伸びしろを自らしっかり捉え、絶えず振り返りをされてきました。就職活動を本格化されてからは、いろいろな職種で見学や実習を重ね、見事、ご自身に合った職場を見つけられました。検定試験では、日本エディタースクールの校正技能検定【初級】を1名の方が見事修了しました。おめでとうございます。編集や出版の世界を目指す方にとっては数少ない専門の検定ですが、地道に学習し続けました。いまでは、この広報誌の校正も手掛ける逸材です。

土曜余暇



ハロウィンからクリスマスに模様替え 季節の風物詩をこえた夢の世界へ

急に朝晩寒くなった土曜余暇の日。秋から冬に向け、事業所の飾りを模様替えすべく、制作作業に取りかかりました。ハロウィン飾りから、次なるクリスマス飾りへチェンジです！宗教という枠をこえ、もはや季節の風物詩、いや、それをもしのぐ、えも言われぬ夢の世界への衣替えです。

Xマス飾り作りと様々な世界♪



今月の Photo



小瓶の中につくる 思い思いの世界

制作セミナーでつくった「ハーバリウム」。

見た目の美しさもさることながら小瓶の中には別の世界が広がっているようでなんとも、おだやかな気持ちになります。



さあ！次はクリスマスだ

11月19日は、『鉄道電化の日』！スピード時代の扉を開く



「つばめ」出発前の東京駅 【出所】鉄道博物館Facebook

11月19日は「鉄道電化」の日です。1956年のこの日、東海道本線の米原-京都間の電化工事が完了。これを記念して1964年に鉄道電化協会が制定しました。電化工事が完了したことで、特急「つばめ」が東京-大阪間を7時間30分で走れるようになり、1964年に登場した新幹線「ひかり」は、東京-新大阪間を3時間10分で結びました。東京から大阪を日帰りできるようになった反面、大阪の料飲店や宿泊施設は大きな打撃となったようです。なお、現在最も速く東京と新大阪を結ぶのは東京駅6時発「のぞみ1号」で、所要時間は2時間22分です。

えっ！「ため息が止まらない」…でも大丈夫！



「ためになる本」が紹介される木曜日。今回は雑誌『こころの元氣』の特集です。テーマはなんと「ため息が止まらない」。ため息は、医学的にみると呼吸器を健全に保つ働きがあるようです。また、脳の覚醒（かくせい）作用もあり疲れた時にため息をつくことで脳がリフレッシュするとのこと。本を紹介した産業カウンセラーの資格を持つ施設長からも「ため息は『いいこと』なのです」と太鼓判。さらに「訓練中や勉強の時に集中し過ぎて疲れてしまったら、ため息をついてみて」と、推しの一手（正しくは押しの手）でもご用心。ため息をつくこと「この人不機嫌な感じがしてこわい」「となりでため息をつかれるとなえるー」というイメージを与えてしまうことも。「ため息をつく時は人のいないところか、近くに人がいる時はたまにがいいかも」とのアドバイスがありました。

相談・見学 については はこちら



お悩み相談 いつでも受付中です！
ご自身のこと、ご家族のこと、就労のこと…
ぜひお気軽にご相談ください♪

チャレジョブセンター熊谷

埼玉県熊谷市桜木町1-7-9 武州熊谷駅前ビル3F
Mail: kumagaya@challe-job.co.jp
TEL: 048-578-8401

チャレジョブセンターHP
<https://challe-job.co.jp>

詳細は はこちら♪

